

## ソリダゴ露地栽培 1a当りの売立て目標12万円～18万円

ソリダゴは生育旺盛で耐寒性があり、生育中の管理が少なく、比較的省力で栽培することができます。

1度植付けると翌年から3～6年は収穫ができます。株分けが容易で種苗費は初年度だけです。

作型を組み合わせることで長期出荷や労力の分散など、自分の農業経営に合わせて取り組みが行えます。

作型表	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	圃場準備								定植	台刈り		
2年目 以降同じ	作型1					出荷	台刈り	出荷		台刈り		
	作型2					出荷	台刈り		出荷	台刈り		
	作型3	台刈り				出荷		台刈り	出荷		台刈り	
	作型4	台刈り				出荷		台刈り		出荷	台刈り	
	作型5					台刈り		出荷	台刈り		出荷	台刈り

ポイント	説明
原産地・分類	北アメリカ原産・キク科・多年草。
定植 (1a当り)	定植1カ月前に堆肥200kg・基肥NPK成分で1.0～1.5kg・pH6.0～6.5。追肥は切花後に1.0kg施用。
	10月頃株分け定植を推奨。
	例①畝間130cm株間30cmの1条植え・1a当り260株準備。
	例②畝間160cm株間40cm条間40cmの2条植え・1a当り320株準備。
収穫目標	1a当り3,500本～4,500本収穫・目標売上げ12万円～18万円。
防除	病害虫：さび病・うどんこ病・オオタバコガ・ハモグリ・ハダニ類。
	雑草：中耕・マルチ・除草シート・除草剤。
管理	開花予定の60日前に低い位置で刈込みを行う。作型を組み合わせで長期出荷可能。
	台刈り後、草丈10cmくらいで、1株当たり15本程度に間引きを行う。極端に太い物と細い物を除去する。
	台刈り後の残渣は畑から持ち出し処分する。
	倒伏防止のためにフラワーネットを1段設置。畝に合わせて20cm×3目。支柱は5～6m毎を目安に！
その他	電照を行うことで出荷品質の向上が図れる。台刈り後直ちに行う。電照資材は3m間隔で高さ150cmに設置。
	電照は収穫頃まで午後10時～午前4時まで暗期中断、又は15分の間欠電照とする。
	ハウスなどの施設を活用した作型の拡大も可能。
	圃場は3～6年で改植する。10月頃株分け定植を行う。
切花出荷	切花は早朝に行い、切り口が乾かないうちにできるだけ早く水につける。
	下葉を取るなどの調整後、10本ずつ輪ゴムで結束し、1晩水揚げを行う。
	出荷方法や出荷日は出荷規格や目揃会で確認する。